

2010年3月期 第1四半期決算発表 アナリスト向け説明会質疑応答

平成21年7月31日
富士重工業株式会社

Q：営業利益増減要因にある売上構成差について、在庫調整等の内訳について教えて欲しい。

A：営業利益増減要因の売上構成差における、在庫調整等による影響は▲96億円あります。その内訳は、在庫未実現で▲80億円あり、国内で▲20億円、海外で▲60億円となります。在庫以外のその他で▲16億円あり、主に3カンパニー、特に航空宇宙部門で+8億円、部品整備で▲10億円、残りがその他となります。在庫については、生産調整や小売が順調に進んだこともあり、現在では適正な在庫状況にあります。

Q：海外の在庫未実現▲60億円について、今年度より米国子会社の決算期を変更しているが、それによる影響はあるか。

A：今年度より米国子会社の決算期を、従来までの1-12月から4-3月に変更しておりますが、それによる影響はありません。在庫未実現については、従来より4-3月の期間で行っています。

Q：業界全体が厳しい中で、米国販売は堅調だが、その他の地域の販売はどうか。今後の見通しに関して教えて欲しい。

A：米国は堅調で、日本やロシア、欧州では厳しい状態です。豪州では対前年比では厳しいものの、全需に対しては健闘しており、中国では好調に推移しています。米国での在庫は6月末で現地在庫が薄くなるなど、順調に推移していますが、ロシアでは出荷を抑えつつ小売販売を細々と続けておりますが、現地在庫が重くなっています。イスラエルや欧州の一部の国でも同様に現地在庫が重くなっています。全世界在庫で見ると、生産調整、小売販売が順調に進んでおり、適正なところになっています。今後の見通しについて、立て直しに特効薬はありませんが、新型レガシィの拡販に期待しています。豪州、中国では市場にフィットする商品となっています。

Q：上期、通期の見通しを変えないとのことだが、在庫は軽くなってきているが、年度の生産計画は変えないのか、今後の生産計画はどうなっているか。

A：通期での生産台数計画は変えていませんが、細かい入り繰りはあります。現状では計画よりも良い方向に進んでいるため、国内向け登録車で9月までに5千台、米国向けで1千台弱、上期で合計6千台弱を、期初計画より増やす予定になっています。下期は不確定要素が強いため、上期増加分をそのまま減らし、通期での計画を変えていません。下期も販売台数を上げて増産できるように、取り組んでいきたいと考えております。

Q：航空宇宙部門の利益が回復している背景は何か。

A：航空宇宙部門では前年比+9億円、実額で16億円の営業利益となり、期初計画通りに進捗しています。その中身は、防衛省向けの無人機研究システムの納入があったことなどがあります。また、昨年、取引先であったエクリップスがチャプター7を申請したことにより、当社との取引がなくなりました。エクリップスビジネスはコストが大きかったのですが、その負担がなくなったことで、利益が上昇しました。もちろん、生産効率の向上にも取り組んでおります。

Q：ボーイング 787 の納入が遅れた際、今後の業績へのインパクトはどのくらいか。

A：報道等にもあるとおり、ボーイング 787 は初フライトが遅れており、当社からの納入も遅れています。航空宇宙ビジネスにおける大きな事業では、売上がたったとしても、最初のうちはコストが大きく、収益性が悪くなり、マイナスになる事もあります。しかし、ボーイング 787 については前々年、前年とすでにコストの引き当てが進んでおり、今後は売上が立っても収益としては大きくマイナスにならない予定です。足元、通期の業績に関しては、計画通りに進んでいます。

Q：1Qの業績は、見通し通りか。また4-6月のフリーキャッシュフローについて、教えて欲しい。

A：上期計画に対して1Qの評価は、ほぼ計画通りでしたが、やや上向いていると考えております。要因は、為替がUS\$=¥95 でみていたものが、US\$=¥98 となったためです。更に、諸経費について、国内販売店での統合に関わる経費削減が計画以上に進んでいます。フリーキャッシュフローは、前年度▲1,000億円弱だったものが、+150億円以上出ています。

Q：米国の台あたりインセンティブについて、通期で1,600ドルくらいを計画しているようだが、どのように考えているか。

A：1Qの台あたりインセンティブは2,000ドルでした。期初計画では更に300ドル高く見ていましたが、レガシィの売り切りが順調に進み、計画値を下回ることが出来ました。年間計画については、期初計画通りに、十分収まると考えております。

Q：営業利益増減要因の売上構成について、▲350億円の内、国内、海外の数量、構成の割合を教えてください。

A：国内はほとんどが数量の悪化で構成は若干の悪化、海外の▲207億円についても過半は数量、1/4くらいが構成の悪化となっています。

以上